

# ソフトウェア品質保証 責任者の会

## 第2期 第1回会合次第

**2013年10月30日(水) 18:30~21:00**  
**ソフトウェア品質保証責任者の会準備委員会**

# 本日の内容

- 19:00～19:10 オリエンテーション
- 19:10～20:00 第1期活動の振り返り  
SQiPシンポジウム報告  
(合宿報告)
- 20:00～21:00 第2期活動計画の討議

**\* 終了後に懇親会を予定**

# 第1期活動計画の振り返り

- これまでの活動期間と実施内容
    - 第0期（2011年10月～2012年9月）
      - 準備期間
      - セミナー中心（セミナー＋セミナー内容の討論）
    - 第1期（2012年10月～2013年9月）
      - スタートアップ期間
      - 討議へ移行（セミナー＋継続テーマでの討論）
  - KPTベースに振り返りを実施
    - Keep（期待通りだったこと）
    - Problem（残念だったこと）
    - Try（今後やりたいこと）
- 詳しくはこの後すぐ

# 第2期活動計画の討議(1)

- “ソフトウェア品質保証責任者の会”の活動目的

役割を越えたディスカッションで品質意識を高める！  
企業を越えたディスカッションで次の一手を考える！

- 活動を通じて自組織の品質向上を図る  
活動：セミナー聴講、セミナーに関する討議  
品質：プロダクト、プロセス、組織
- 活動成果を形にして公開する  
組織内外へのアピール  
フィードバックによるより多くの“気づき”

# 第2期活動計画の討議(2)

- **活動テーマ選定の考え方**  
自分自身の興味のあるテーマ  
自組織の改善に役立つテーマ
  
- **活動内容例**
  - 研究的アプローチ：  
あるテーマを深掘して見解を出す
  - 調査的アプローチ：  
興味あるテーマを調査して傾向をみる  
(アンケートなど)
  
- **情報収集手段としてのセミナー**  
テーマに関係する講師を招聘

# 次回までの宿題

- **希望する活動テーマの選定と活動方針立案**
  - 検討・調査したいテーマ
  - 検討・調査の実施方法
  - テーマに関連する講師候補

# 次回以降の予定

2014年1月以降の予定は  
後日お知らせします

## ■ 第2回定例会

日時：2013年11月16日(土) 13:00～17:00

場所：中央電気倶楽部（ココ）

セミナー：

「問題解決技法（仮）」

鈴木三紀夫氏（MRTコンサルティング）

## ■ 第3回定例会

日時：2013年12月上旬（平日）19:00～21:00

場所：中央電気倶楽部（ココ）

セミナー：

「HDR法：仮説駆動型レビュー手法の提案  
～HDR法の実践による生産性と品質の同時向上～」

高橋実雄氏（サントリーシステムテクノロジー）

SQiP Best Paper Future Award  
受賞

- **品質保証(部門)の土台作りの議論**
    - 品質保証部門（関西の）役割は？品質保証とは？を考える
  - **技術的側面**
    - 品質保証の勉強を1から始める
  - **経営的側面**
    - 品質活動との関係を考える
  - **活動を広げる**
    - 広がる可能性があるのか。関西の現状を知る
- ドメインの違いや立場の違いを考える必要がある



# 今後やりたいこと1 (Try)

発表資料抜粋

## 品質保証（部門）とは何か？の探求（その1）

- 土台作りの議論
  - 品質保証部門（関西の）役割は？品質保証とは？
- 活動を広げる
  - 品質活動する/している人々と協働したい。
  - 人を増やしたい
    - 広報
    - 関西の実態調査
      - 関西の現状はどうなっているのか？
      - ターゲットはどこか？（部門、関西のドメイン）
      - アンケートの呼びかけ（入口を広げる）

# 今後やりたいこと2 (Try)

発表資料抜粋

## 品質保証（部門）とは何か？の探求（その2）

### – 技術的側面の探索

#### ■ 品質保証の勉強を1から始める

- 勉強したい
- 勉強するメリットは？ ※これが大事なのは明らか
- 知識を増す
- 開発との関係
- そもそも論

### – 経営的側面の探索 ← 品質活動との関係

- 売れる/儲かる
- 信頼
- 我慢

# 今後やりたいこと3 (Try)

発表資料抜粋

## 「責任者の会」のあり方の検討

- 立場の違いを乗り越える
  - “ドメインの違い”、“第一印象”
    - ドメインの違いを吸収/立場の違い
      - ハードル感の拭去
      - 第一印象の改善

